

うちの地区ではこ～んな取り組みをしています！

わが地区の
安全安心③

自主防災や河川・水路の美化など、地区で取り組んでいる「安全安心」についての活動を、リレー形式で紹介してもらいます。今回は屋城町です！



「いざという時のために」

屋城町地区長 鈴木 隆政

当地区では、毎年、「いざという時のために」というテーマで防災学習会を開催しています。全地区民を対象に市、警察、消防機関から講師をお願いしてそれぞれの立場から災害への対応など座学、実践を交えて行っています。会場まで来る時も自主防災会の役員の方はヘルメットを着用し、避難誘導を行いながら会場に集まり、開始前には防災資機材のチェックを行っています。

一昨年の10月の台風による最上川の増水時に中央地区内に避難勧告が出され、当地区では、20世帯以上の方々が避難施設（長井小）に避難しています。結果的には最悪の被害とはなりませんが、最近の災害は過去の災害を上回る想定外のものとなっており、避難した方々は賢明な選択をされたと思います。このような自ら考え行動できる方々はあまり心配ないのですが、当地区も高齢者が多くなっており、この方たちをどのように無事避難させるのか、大きな課題となっています。（次回は十日町です）



防災学習会～座学～



防災学習会～実践～
資機材の点検

中央史談会からのおしらせ

長井夜話を復刊しました

竹田市太郎先生の著作、「長井夜話」の復刻版を販売しています。郷土史の入門書として最適な一冊です。道の駅川のみなと長井や八文字屋長井店で購入できます。ぜひどうぞ。



会員を募集しています！

中央史談会では会員を募集しています。日本史、郷土史に興味のあるみなさん、一緒に楽しく学びましょう！お申込み、問い合わせは中央コミセンまで。



まちなかをあやめで
いっぱいにしよう！

あやめのオーナー大募集

中央コミセンでは、あやめまつりの季節に街をあやめでいっぱいにするため、配置し育ててくれるオーナーさんを募集しています。興味のある方はぜひ中央コミセンまで連絡ください！

お渡し時期：5月中旬～6月上旬

内容：あやめ苗（長井古種）、
専用の鉢、育て方（説明書）
申し込み・問い合わせ：中央コミセン
（電話：84-5869）



中央コミセン
情報発信中



コミセン
Facebook



編集後記

コロナで始まりコロナで暮れた1年でした。“みんなでつぐっぺ長井のまち”のスローガンのもと、一丸となりすすめてまいりました。しかしながら予定していた活動や事業は相次ぎ中止。それでも、密を避けながら開催された事業もたくさんありました。ご協力感謝申し上げます。これからも中央コミュニティセンターは皆様とともに成長していきたいと思ひます。ご指導、ご協力をお願い申し上げます。
中央コミュニティセンター運営協議会地域振興専門部 遠藤 幸子

〔長井市中央コミュニティセンターだより 第8号〕

まちづくり ひとづくり みなくう～る

発行／長井市中央コミュニティセンター運営協議会
長井市屋城町6-53 TEL・FAX (0238) 84-5869

編集／地域振興専門部

E-mail: chuou-k@jan.ne.jp

第150号

(令和3年3月31日発行)



～ 演題「令和時代の地域づくり～ウィズコロナ、鳥獣対策、高校生の取り組みから～」～

講師：会津大学短期大学部産業情報学科 准教授 青木孝弘さん

感染症対策を徹底し、無事に開催することができました。ご協力ありがとうございました。



中央コミュニティセンター運営協議会
会長 鈴木 要

いあこわい

寒暖も定まらぬ毎日ですが浅春を迎え日に日に日差しを増して暖かく感じられる今日この頃でございます。平素は、当中央コミュニティセンターに対しては格別のご支援とご理解を賜り厚くお礼申し上げます。さて、一昨年にスタート致しましたコミュニティセンターも昨年の新型コロナウイルス感染症拡大のため、当初計画した事業が出来なくなり、地域の皆さんとのコミュニケーションも思うように取れず地域づくりも進まず、大きなリスクになっております。一刻も早い収束を願うばかりです。今年度の遅れを軌道修正し、遅れを取り戻すため、準備を進めております。長井市が定める条例に基づき「地域住民の主体的な地域づくりの促進」と「魅力あふれる地域社会の形成」を達成するには、人と人とのコミュニケーションや、地域の実態とニーズを把握することが必要とされます。その上で、しっかりとした趣旨を持って、目的を達成しなければなりません。今後は、当コミセンも運営協議会及び職員の方々としつかり努力を重ね、以前から学んだ経験を活かし、今まで築き上げた土台を活用しながら骨太の「コミセン」にし、スピード感を持って進めていかなければならないと思っております。地域の皆様方と意見を共有しながら、明るく住みよい街づくりの向上を目指すことと、コロナ感染症の収束後には、新たに改善の地域づくりに努力を重ねて参る所存でございますので、今後共、ご指導とご理解の程、よろしくお願い申し上げます。

関係団体役員研修会&新春を祝うつどい

1/9(土)



内谷市長のあいさつ



青木孝弘さんの講話



Zoomを活用したインタビュー



質問タイム



別室にてオンライン視聴



運だめし抽選会

会津大学短期大学部産業情報学科准教授の青木孝弘さんを講師にお招きし、住民主体の地域づくりについてご講演をいただきました。地域運営組織による地域づくりについて、会津若松市の「みんなと湊まちづくりネットワーク」の鈴木事務局長にオンラインインタビューをしたり、高校生と一緒に取り組んでいる鳥獣対策のお話など今後につながる大変貴重なお話を伺うことができました。今年は、新型コロナウイルスの影響で参加者を限定しての開催となりましたが、ZoomやYouTubeのライブ

配信を行うなど新たなチャレンジをした有意義な研修会になりました。研修会終了後に行った運だめし抽選会も大盛り上がり！ご参加いただいたみなさん、ありがとうございました。



中央コミュニティセンター 館長 大竹 仁

一年を振り返って

（コロナ禍で模索しながらも少し前へ）

今年度は、コロナ禍のために事業の中止や縮小をせざるを得ないことも多くありました。コミセン化2年目にあたり、このような困難な状況下でも、「地域づくり（夢）プラン」として地域づくり事業を焦点化して取り組み、模索しながらも少し前に進めたように思います。

とりわけ成果が上がった事業は、長井の町をあやめの花でいっぱいにする「あやめ花いっぱいプロジェクト」です。今年度は、多くの皆さんに、あやめの育て方を学ぶ「ガーデニング講習会」に参加していただきました。来年度は、プロジェクトの協力者を増やし、自宅前や商店街、学校等にあやめの花をたくさん飾っていただきたいと思います。

さらに、コロナ禍であることで、逆に可能性が広がった事業もたくさんありました。小学生の「畑の楽耕」では、コミセンの事業が中止になったために、初めて朝市に出店し、手作り野菜を販売しました。また、クリスマスケーキ作りや正月飾り作りでは、一堂に会しての活動ができなかったため、家庭で親子一緒に作り、出来上がった作品の写真をメールで送っていただく工夫もしました。ふらり学講座の水路や商店街をめぐる「まち歩き」では、長井市在住の方限定での参加となったことで、地元への理解と愛着がより深まったように思います。

来年度は、今年度計画してもできなかったことはぜひ実行し、「住民主体の地域づくり」の歩みをさらに前へ進めたいと考えています。

きょういっく 共育セミナーなかよしくらぶ ～1年間の活動を終了しました～



巨大カルタとり



ボールハウス



絵本の読み聞かせ



雪だるまと一緒にパシャリ



ソリすべり



オニのかぶり物工作



大きなおひなさまと一緒に



卒業記念制作

今年度は感染予防対策をしながらの活動となりましたが、ママやおばあちゃん、お友だちと一緒に楽しい1年間を過ごしました。夏の暑い日の畑作業やソーシャルディスタンスを保った上での昼食会、七夕や節分、ひな祭りなどの季節の行事をみんなで仲良く体験しました。なかなか例年同様の活動を行うことはできませんでしたが、毎週木曜日に「おはようございます！」と元気に部屋に入ってくる姿とコロナも吹き飛ばような子どもたちの笑顔で心が癒されました。今年経験した様々な体験を忘れず、大きく育ってくれることを願っております！

「なかよしくらぶ」に参加して
梅津 由希

色々な経験をさせてあげたい親心を補ってくれたのが「なかよしくらぶ」でした。同年代の子どもや家族以外の大人と関わることで、自分たちで育てた野菜を皆で食べるという一連の食育体験、七夕やクリスマス、雛まつり等の季節の行事、郷土料理に触れる機会は、家庭だけでは難しいところもあるので本当に有り難かったです。一年間を振り返ってみると色々なことを思い出します。暑くて何度もうけそうになった夏の畑、イヤイヤ期へ突入し、畑まで抱っこをせがみ歩かない男の子たち、どんなに寒くてもジャケットを着てくれない女の子、めちやくちゃんになると分かっていくけど手を出さないように頑張った工作、最近では紙芝居の扉の開け閉めを競っている子どもたち。その時その時は大変な思い出でも、今では笑えてくる良い思い出です。周りのスタッフさんに温かい目と広い心で見守っていただき、自分ではなかなか見えない子どもの良い所を褒めてもらったり、悩みを共感しあえたりしたからこそ楽しい記憶として残っているのだと思います。

週一回ですが私たち親子にとってはかけがえない時間でした。もう一年参加したいなと思うくらい名残惜しい気持ちでいっぱいです。こまめでたくさんの経験をさせてあげられたことに大変感謝しています。ありがとうございました。

親子でつくろう! おうちで「やんちゃ放課後ひろば」 ~お正月かざりをつくろう!~

中央地区の放課後子ども教室として行っている「やんちゃ放課後ひろば」。今年は、新型コロナウイルスの感染拡大予防のため、放課後集まって活動することができませんでしたが、もらいました。参加者のみなさんから提供いただいた作品写真を紹介します。今回は、放課後子ども教室中央地区コーディネーターとコミセン職員による審査を行い、優秀作品を6点選びました。

中央地区の放課後子ども教室として行っている「やんちゃ放課後ひろば」。今年は、新型コロナウイルスの感染拡大予防のため、放課後集まって活動することができませんでしたが、もらいました。参加者のみなさんから提供いただいた作品写真を紹介します。今回は、放課後子ども教室中央地区コーディネーターとコミセン職員による審査を行い、優秀作品を6点選びました。



地域振興領域



地域振興専門部
部長 横山 裕充

観光事業や商店街について学ぶ
“ふらり学講座”を実施
あやめを普及する
“あやめ花いっぱいプロジェクト”
もスタートさせました！



水路をめぐる
まち歩き観光



おとなの社会見学
商店街を歩こう



ガーデニング講習会
への参加
あやめ花いっぱいプロジェクト

今年の地域振興専門部の活動を振り返ってみると、新型コロナウイルス感染症に左右されながらも、皆様にいろいろなご協力をいただきながら進めることができました。

地域づくり事業では、8月にあやめ花いっぱいプロジェクトをスタートさせ、専門部員の観光についての研修会も行いました。9月と12月にはふらり学講座としてやまがたアルカディア観光局や商店街に協力いただき、「水路をめぐるまち歩き観光」や商店街を歩く「おとなの社会見学」を行い、まちの魅力を再発見しました。また、中央地区に転入された方向けの生活マップも作成しました。

生涯学習事業では、感染症対策を行った上で、規模を縮小し、オンラインを活用するなど工夫して、関係団体役員研修会を例年通り行うことができました。広報活動ではコミセンだより「みなくう〜」に地域の活動の様子や事業参加者の感想を多く寄せていただき、地域との懸け橋になるような紙面にすることができました。次年度もさらに良い活動ができるようにご協力をよろしくお願いします。

安全安心領域



安全安心専門部
部長 伊藤 浩晃

子どもたちと食の安全安心を学んだ“畑の楽耕（がっこう）”
地区の防災の取り組みの紹介や、交通安全の情報交換も！

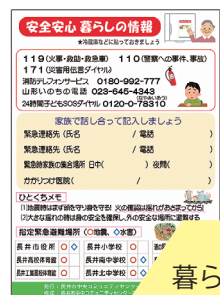
普遍的な価値であった「人が集う」自由が問われ、私たちの生活様式に大きな変化をもたらした新型コロナウイルス感染症の拡大、7月豪雨と予想しえなかった年でした。

安全安心専門部は「皆で力を合わせ、さらに安全安心なまちをつくろう」をテーマに、地域づくり事業分野では、交通安全の推進で登下校時の立哨を行っている団体・市職員と情報交換会を実施。生涯学習事業の暮らしの安全安心分野では、コロナ禍を考慮しながら「大人のそば打ち入門」を開催しました。また伝承料理&郷土料理のレシピ本を編集中です。更に小学生親子を対象とした「畑の楽耕」は例年通りの活動の中で法被を新調して朝市で販売体験を行いました。自然体験や生活体験を通して未来を担う子どもたちは協調性、忍耐力、豊かな感性を野菜とともに育てています。どの子を見ても達成感と自信でいっぱいです。暮らしの安全安心分野は、コミセンだより「みなくう〜」に防犯活動の啓発、防災・河川・水路の美化など地区で取り組んでいる活動を『うちの地区ではこ〜んな取り組みをしています』と題して地区長さんにリレー形式でご寄稿いただいております。また、全世帯に配布する『安全安心暮らしの情報シート』を製作しました。

コロナの影響は引き続き予断を許さない状況ですが、日々を一喜一憂するのではなく、今この時、日々是好日を意識しながら未知の状況に柔軟に対応していきたいと思っています。



畑の楽耕
野菜の収穫



安全安心
暮らしの情報シート

健康福祉領域



健康福祉専門部
部長 手塚 辰弥

いきいき交流フェスタやいきいき健康教室は中止に―
共育セミナーとお茶の間交信関連事業は工夫して行いました

こんにちは、健康福祉専門部の手塚辰弥です。

今年度1年間は新型コロナウイルス感染症の流行のため主だった活動が出来ず大変残念です。例年2、3月に実施していた“いきいき健康教室”も中止になりました。年間行事に沿って企画をしてきてもコロナからは逃れられず中止になり、ふらりの基本的な活動であるコミュニケーションの場が少なくなってしまったことには空しさを感じます。

やはり老若男女問わずコミュニケーションにより人間関係を身に着けて行くことが大事だと思います。それが地域の発展、活性化に繋がるからです。地域の活動を通して、仲間と仲良く、体作り、語らうのが本来の姿ですが、今は決まった範囲でしか動くことができず、ストレスも溜まり心身ともに良くありません。是非、体を動かす（100歳体操等）、読書、お家の中で出来る事を日常の生活に取り入れて生活をしてください。

本来であれば年間行事の反省となるはずですが、コロナ禍で当専門部でもいくつかの事業ができないまま年度末を迎えてしまいました。来年度は工夫をして事業が行えるように頑張っていきます。

一刻も早くこの状況が終息し、落ち着いて来て活動が出来る事と、そして皆様のご健勝をお祈り申し上げます。



共育セミナー
なかよしくらぶ



お茶の間交信
パパとあそぼう♪

教育文化領域



教育文化専門部
部長 中井 俊彦

親と子、人と人が学びを通して
交流する教室を開催―
様々な工夫で感染症対策を行い
ながら事業を実施しました

今年度も残すところわずかとなりましたが、新型コロナウイルス感染症に振り回された1年でした。そんな中でも教育文化専門部では、分割開催や広い会場の確保などの工夫をしながら、親と子の季節の体験事業として「カブトムシを育てる教室」と「オリジナルクリスマスケーキ作り教室」を、学習ひろば事業として「星空教室」と「デジカメ教室」を、そして「ふるさと史跡めぐり（水路をめぐるまち歩き観光 ※地域振興専門部との合同事業）」を行い、5つの事業を実施しました。参加いただいた市民の方々、ご協力いただいた講師の方々、準備していただいた事務局の方々に深く感謝申し上げます。

いま巣籠りに近い状態で暮らしている方が多いと思いますが、これは決して健全な生活と言えるわけではありません。また、年度が替わっても新型コロナウイルス感染症が無くなるわけでもありません。それらを踏まえて、知恵を出し合い、工夫を凝らしたやり方で、新たな出会いや人との交流を促進させるような事業に取り組みたいと思っています。



カブトムシを
育てる教室（体育館）



星空教室
（いい天文台）



デジカメ教室
（長井ダム）